

## 在学・在職関係資料（1960～2000年代）を大学文書館で受贈

9月8日（火）、大学文書館では、南部 昇名誉教授から、在学期の資料（1960～1970年代）と在職期の資料（1980～2000年代）等をあわせて1箱ご寄贈いただきました。

南部名誉教授は、1964（昭和39）年教養部文類に入学され、文学部及び大学院文学研究科において学生生活を送られました。日本史学分野で古代戸籍の研究に取り組み、1984年文学部に助教授として着任された後は、教養部・文学部・大学院文学研究科の教育にも従事され、2009（平成21）年3月に定年退職されました。

この度、受贈した資料は、（1）教養部クラス雑誌、（2）北大生発行生活誌『GOEMON ごえもん』、（3）新歓パンフレット「楡」・「別冊 楡：教官アンケート」（1992年）や「文学

部紹介 第一版」（1974年秋）、（4）教養部クラス名簿（1984・1985年）、（5）文学部日本史学専攻移行生名簿（1984～1992、1996年）、（6）「北大紛争」時に配布されたピラ類（1969年）、（7）学長選挙時に配布されたピラ類（1980～2000年代）などです。

教養部クラス雑誌は、教養部2年19組『文集』（1969年）のほか、教養部文類1年2組（1964年度入学）の文集『燎原』が創刊号（1964年7月）～第3号（1968年2月）まで揃っています。教養部での科目履修を終え、学部に移行した後も、教養部同級生のつながりが強固であったことが感じられます。

また、北大広告研究会Ciaoが発行した『GOEMON』も、第1号（1989年）～第5号（1993年）まで揃って

ます。教養部の「教官大図鑑」や「鬼仏表」、教官・元学生へのインタビュー記事（高橋世織助教授、映像作家中島 洋氏）など豊富な企画で読み応えのある同誌は、後に作家として活躍される渡辺一史氏（代表作『こんな夜更けにバナナかよ』）が編集したものです。アンケートを依頼した教官宛ての手紙や御礼状なども挟み込まれており、同誌の編集過程もうかがうことができます。

今後、ご寄贈いただいた資料は大学文書館の沿革資料室収蔵庫において大切に保管し、整理作業を進めて、大学沿革史の企画展示や年史編纂にも反映させていただきます。

（大学文書館）



『燎原』 創刊号～第3号



『GOEMON』 第1号～第5号